

# NEWSLETTER

No. 8

岐阜大学国際交流室 1990年3月23日発行

## 「国際理解教育の集い」の歩み

国際理解教育担当主任  
農学部教授

堀内孝次

第一回『国際理解教育の集い』が1985年 7月9日、17:00より国際交流室内の1室で開催された。初代の国際理解教育担当主任は菅原光穂（教養部）先生で、講師は学内研究生のY.N.Singh氏（インド）とBarry Brand氏（アメリカ）であった。参加者は部屋が狭いこともあり、国際交流室関係者と日本語教育担当のボランティアを含めた15名程度であった。この時は全て英語でスピーチとディスカッション交流が行われた。まず、学内の国際交流室内関係者が自ら国際理解を実践することとなり、この年が『国際理解教育の集い』元年となった。

第二回の『集い』が翌1986年6月25日に開催された。この時からスピーチとディスカッションは、どうしても英語でないと話せない部分を除いては日本語でということになった。講師のMichael Poku氏（ガーナ）と王玉璋氏（中国）はともに極めて流暢な日本語で各1時間を話してくれた。この時代から国際理解教育担当主任を私が引き継ぐこととなった。同年の9月30日の『集い』では会場を国際交流室から国際交流会館内の研修室に移して参加者数を40人程度に拡大し、留学生や学生の参加を歓迎した。さらに同年12月3日にこの年3回目の『集い』を行い、年3回開催の基礎が確立された。1987年は私自身が学部組織再編の渦中であって主任としての責任を十分果たすことができなかった。この年、『集い』は9月と11月の2回で終わってしまった。翌年、再任され、1988年と1989年に各3回の『集い』を開催した。特に、最近の2回は大学院生を含んだ学生の参加が増え、留学生とのディスカッション交流も一段と熱気を帯び、一層意義深いものとなってきた。留学生のわれわれ日本（人）に対する厳しい見方には大いに考えさせられるところも多かった。しかし、ここにきてやっと、国際理解教育のひとつの試みが軌道に乗った感がある。今後とも、さらなる発展を期待したい。別表にこれまでの講師の氏名とスピーチのテーマをあげた。

「国際理解教育の集い」の歩み（1985～1989年）

| 開催月日       | 講師                 | 国籍     | テーマ   |
|------------|--------------------|--------|---|
| 1985. 7. 9 | Y.N.SINGH          | インド    | インドについて                                       |
|            | BARRY BRAND        | アメリカ   | アメリカのビジネス他                                    |
| 1986. 6.17 | MICHAEL POKU       | ガーナ    | ガーナの衣食住                                       |
|            | 王玉璋                | 中国     | 中国の教育システム                                     |
| 1986. 9.17 | LOW CHO KEE        | マレーシア  | 今日のマレーシア事情                                    |
|            | 金美求                | 韓国     | 韓国の伝統   |
| 1986.11.19 | 金川聖子セシリア           | ブラジル   | 今日のブラジル事情                                     |
|            | 地坂勝美マリオ            | ブラジル   | ブラジルの日系社会 — タウケ村、Bairro do Tawque, の成立過程と現状 — |
| 1987. 9. 8 | SUDJIANTO          | インドネシア | 今日のインドネシア事情                                   |
|            | 鄭聖汝                | 韓国     | 日本人と韓国人                                       |
| 1987.11.27 | HORIKAWA CLARA     | アルゼンチン | アルゼンチンの家庭と家族                                  |
|            | YE AUNG            | ビルマ    | ビルマ語と日本語                                      |
| 1988. 7. 5 | MIMIRBOD SEYED     | イラン    | イランについて                                       |
|            | MOHAMMAD           |        |   |
|            | MAAMRIA KAMEL      | チュニジア  | チュニジアについて                                     |
| 1988. 9.20 | NINSUWAN SUCHITTRA | タイ     | タイと日本はどうちがうか                                  |
|            | JOHN ADOMAKO       | ガーナ    | ガーナの文化について                                    |
|            | TAWIAH             |        |   |
| 1988.11.29 | LIBRADO AVILA      | フィリピン  | 新たな日比両国関係の第1章                                 |
|            | SANTIAGO           |        |   |
| 1889. 7. 7 | 李鏘洛                | 台湾     | 台湾雑談  |
|            | 勝浦ソニア              | ブラジル   | ブラジルの紹介                                       |
|            | MATS ANDERSSON     | スウェーデン | 日本とスウェーデンの違い                                  |
| 1989. 9.19 | OLOV               |        |   |
|            | MANJAKUNNEL        | インド    | インドのきらめき                                      |
| 1989.12. 5 | MICHAEL            |        |   |
|            | 金貞姫                | 中国     | 現代中国の女性                                       |
|            | LENORA J. BEEM     | アメリカ   | アラスカ事情  |
|            | CARLOS JENARO      | メキシコ   | メキシコ、その現状                                     |
|            | CHOCOLATL DURAN    |        |   |

# PTP (person to person) クラスインストラクターからの一言

河 地 和 子

国際交流室とお付き合いを始めてもう5年が過ぎようとしています。交流室に机やワープロの入った日や第1期の留学生の顔を思い浮かべると、つい昨日のこのように思えますが、その後の留学生の名前を挙げていくと本当に大勢の方と出会いました。これが私の財産だと大切に、そしていつの日か、世界中にいる私の友達を訪ねて、“世界一周”と夢見ています。現在はフィリピンからのロレンサさんとPTPクラスをやっています。



六 郷 明 美

言葉の通じない国で暮す不自由さ、もどかしさを自ら体験したことで、私でも何かのお役に立てればと深く考えもせず、PTPのボランティアに参加して2年余り。その間4ヶ国4人の留学生と接し、又一昨年夏にはスウェーデンからの留学生のホームステイも体験致しました。最初は単純に楽しい楽しいで過ぎておりましたが、最近では、その難しさ、大変さを痛感しております。



心をつなぐ橋

伊 藤 恵

『外国人の間違った日本語を聞いたら、是非、直して下さい。直さずに、にやにやしたり、英語で答えようとするのは、何故ですか。』

この言葉は、外国人から、日本人に対する率直な意見であり、一番多い問いかけだと、いつか本で読んだ事があります。

私も日本人として、そう思います。

日本人のいいかげんな誉め方も、本当に失礼だと思っています。微力ながら、国際交流室にて、日本語を教えて早や二年が流れました。縁あって、担当する留学生にしている今でも変わらないことがあります。その学生の国を学ぶことから、私の日本語指導を始めてゆきます。彼らが、日本の文化、風習、ことばを一生懸命勉強しているのに、彼らの国を知らないのは、失礼だと思ったからです。

それが糸口になって、何気なく話す内容にも、新しい発見があり、心の触れ合いが生まれ、知らず知らずに、誠意が誠意として、伝わる素晴らしい仕事だと、幸せに思い毎日頑張っています。

# From San Diego

岩 井 由 美

アメリカの大学の講義は日本の大学の講義とは全く異なります。日本の大学の講義が教授によってすすめられるなら、アメリカの大学の講義は学生が進めます。教授が一言言えば、学生が三言返します。もちろん質問が中心ですが、ときには教授と学生、学生と学生の議論になってしまうこともあります。先生のおっしゃっていることを疑問に思うことなく丸ごと覚えることになれてしまった私にはこれがとてもショックでした。日本の学生が分からないところを後から自分で調べたり、友達に聞いたりするのと違い、アメリカの学生は授業の中で理解してしまおうという感じです。

1クラスの大きさは多くて30人、みんなで教授を囲んでとてもリラックスしたふんいきです。皆本当に興味があるから、知りたいから、理解したいから勉強するという意気込みが感じられます。宿題は科目によって異なりますが、学期の始めに教授がその学期のスケジュールをくばり、その時間に進む分教科書をよむというのが前提となります。もちろん皆予習はかかしません。講義は1コマ50分、週3回、時間ピッタリに始められ、時間ピッタリに終わります。50分の授業というと岐大の半分ですが、岐大のように教授が遅れてくることもなく、学生も50分間とても集中して勉強しますからとても充実したものです。

一学期は4ヶ月からなり、その間に中間テストが2回期末テストとレポートで終わります。これらのテストはとても難しいし、範囲がとても広いです。

1つの授業で約400ページのテキスト、200ページの参考図書を扱いますが、4ヶ月ですべておわらせてしまいます。

こちらにくる前、日本の学生は高校でよく勉強し、大学では勉強しない。アメリカの学生はその逆である。と聞いたけれど、本当にそのとおりです。内容も、大学1年生の学習内容が日本の高校の程度で3年生あたりから日本の大学に追いつきます。

確かに皆一生懸命勉強しますが、それは彼らが全然遊ばないという意味ではありません。アメリカのWeekendの過ごし方について少し書くと、金曜の午後からはじまって、金曜の夜はそこら中でpartyがひらかれますし、映画、ダンスなど、それぞれ楽しめます。

土曜日ままる一日Beachへいたり、バレーボールをしたりゴルフをしたり、さまざまに楽しんで日曜日一斉に次週の予習にとりかかります。この週休二日制もアメリカのよいところですよ。

日常生活について書くと、大部分の1年生が寮に住み、2年生からアパートをかります。たいいていのが日本に比べて安い中、アパートの借り賃はとても高いのでベツルム2部屋、キッチン、リビングといったところに4人で済みます。寮も相部屋で部屋もそれほど広くありませんが、いろんな人と知り合えるということが良い点です。

食事はカフェテリアでします。カリフォルニアはメキシコに近いのでメキシコ料理が盛んで、メニューは、ステーキ、ハンバーガー、サンドウィッチ、パスタ、スープ、サラダ、ケーキあとメキシコ料理といった感じです。もちろんレストランもまわりにあります。今一番高いレストランは日本食です。

サンディエゴは気候がいいと有名ですが、ほとんど毎日晴天で気温も70 degree ぐらいです。だから昼間は短パンTシャツで学校に通います。

アメリカの学生では着飾りません。もちろんパーティーとなると、とても大人っぽいドレスをきたりスーツをきたりしておしゃれしますが。

こんな感じでサンディエゴはとても住みやすいところです。でもやはり英語で講義をうけたり、テストを受けるのは想像以上に大変です。自分のいい事がうまく表現できないのもまたもどかしいです。こちらにきてよかったと思えるのは、大学の講義に参加して勉強への姿勢がかわったこと、いろんな人とあってすこし視野が広がったことなどがあげられます。

大変だけど、よかったと思えることがそれ以上にあるから頑張れる気がします。こういう機会を与えて下さった方々に感謝します。  
(教育・英語英文3年)

## 好奇心のススメ

阪本千恵



寮でSushi Party!

(左からスウェーデン人、日本人、  
ポーランド人、ブラジル人)

彼らが日本について知っているのと同じ位の事を、果たして私達はスウェーデンについて、あるいはヨーロッパについて知っているだろうか?」ということです。それどころか、日本の事さえ十分に答えられないのでは…。あまりにも安穏と暮らしていただける私達学生は、自分の生活に直接関わってこない限り、他の世界に対して‘好奇心’を持たなくなっているのではないのでしょうか。

スウェーデンにいても日本の文化についてのTV番組はたびたびあるし、ニュースでもよくでできます。1日に1回は日本語のCMも流れます。不思議なほど日本を近くに感じます。それだけ、今、日本は世界の中で注目されているのでしょう。(良きにつけ、悪きにつけ。)それを知らないのは私達日本人位のものかもしれません。

また、世界が狭くなってきているのも事実です。特に、今ヨーロッパでは確実に何かが起こりつつある。ここにいると距離が近いせいか、それが良く伝わってきます。実際、私のスウェーデン語のクラスにも、ルーマニア、チェコスロバキア、ポーランド、イランなどを含んだ、13ヶ国からの人がいるので、改めて様々な国を身近に感じています。

私は英語教育が専門で、スウェーデンの英語教育について勉強するためにここへ来ました。時々、中学校や高校を訪問して、実際の英語の授業を觀せてもらうなど、とても良い勉強になります。けれど、そうした技術的なこと以上に、ここで得た出会いや経験、世界観は、私が教師になった時に役立つでしょう。英語だけ教える英語教師ではいたくないと思います。中身なしに言葉は使えません。その中身のためにも‘好奇心’が原点になってくるのではないかなあ…と思う今日この頃です。  
(英語・英語英文4年)



かつての留学生たちとともに（河地宅にて）

## 初級日本語クラススピーチテストより

### 日本語について

馬霞

私は初めて日本語をみた時には、日本語には漢字がたくさんあるので、中国人にとって易しいと思いました。しかし、勉強をしているうちに、中国の漢字は日本の漢字と同じものではないということがわかりました。例えば、同じ漢字である「手紙」とい言語の読み方は中国語で shou zhi といいますが、日本語で「てがみ」になります。それに、意味はぜんぜん違います。中国語では Toilet Paper、日本語では Letter の意味になります。

そのほかに、文型が違います。中国語では動詞を主語のすぐうしろに置きます。日本語では動詞を目的語のうしろに置きます。例えば、日本語で「消費税は生活を破壊する」、中国語で「消費税破壊生活」といいます。それから、丁寧語と普通語、尊敬語と謙譲語、動詞の変化などを勉強するにしたがって、だんだんむずかしくなってきました。ですから、今では、中国人にとってむずかしくてなかなかうまくマスターできないとわかりました。でも、中日友好を深めるために、日本のすぐれた教育方法を中国の教育にとり入れるために、私はいっしょうけんめいに日本語を勉強しなければならぬと思っております。

（教育学部 山内）

### りゅうがくせいのせいかつ

カルボネル・エリーザ・フェルナンデス

日本に行くことをした私はこうふんしました。まいにち日本へくることをかんがえました。去年の10月に日本へぶつりのべんきょうをしにきました。4カ月あとで岐阜のせいかつはとでもたのしいことをしました。はじめてけいけんすることばかりです。たとえばほかのくににひこうきできたのもはじめてです。かぞくやしゅじんとはなれたのもはじめてです。しゅじんがなにをしてするか私はかんがえます。

またフィリピンのぶんかと日本のぶんかがちがうこともしりました。岐阜にきていろいろなくにのひとたちともだちになり、いろいろなくにのぶんかもしりました。日本について私は本でよん

だり、いろんなひとからおしえてもらっていますが、いちねんはんいるあいだにもっと日本のことをすることができると思います。1月に岐阜ではまだゆきがふりませんが、私は大阪にいったときでんしゃにのりかえたまいばらで、はじめてゆきをみました。ゆきはとてもきれいでした。

日本語のじゅぎょうもにぎやかです。みんなはかっぱつにさんかしています。

フィリピンにかえるとき日本でのせいかつをよくおもいだすだろうと思います。

(教育学部 田阪)

## 日本と日本人について

### イー・イー・レイ

古代の日本人の祖先がのこしていったものと言えばだれでも五重塔に代表されるようなお寺や仏像をおもいおこすでしょう。でも日本に来てそういう所はあまり見たことがないです。お正月の時もお寺へ行く人の数はほんの少しだけです。同じ仏教の国でも違ったところがたくさんあることが分かりました。日本のおぼうさんが結婚することができるのにおどろきました。私の国ではおぼうさんが結婚するのは許されていません。また、日本人と言ったらいつもきものをきていていると思っ  
ていましたが、ずいぶん違っていました。

日本に来る6年前に、日本のことについて日本歴史の本を読んだことがあります。六世紀の中ごろに、朝鮮半島をとって仏教が伝わって来たそうです。この時代は一人の男が幾人もの女を妻にすることがふつうのことだったのであるそうです。歴史は楽しいものです。歴史には人間のうつくしさをくさ、強さや弱さのすべてが書いてあります。歴史を学ぶことは人間について学ぶことであり、また社会について学ぶこともあります。私も日本語を勉強している間に日本の歴史の楽しさを味わうところから、初めて興味が強くなりました。日本という国はどんな国かが知りたくまりました。どうしても死ぬ前一度行ってみたい気持ちでいっぱいになりました。

また3月3日は女の子の日、つまりおひなまつり、5月5日は男の子の日、つまりこいのぼり、たなばた、お花見などのことを本で読んで覚えられました。そういうまつりも中国から伝わって来たそうです。だから日本の文化のある部分は中国から伝わってきたらしいですから、日本と中国はもともと祖先が同じかなあと思いました。もし日本に来れる機会があったならいろいろなまつりを見てみたかったのですが、ぐうぜん長い間あこがれた日本にきょねんの5月につきました。日本は夢のような国、安全な国だということを自分のけいけんで分かってきました。でも日本は世界中一番ぶっかの高い国だということも知りました。まだ進歩していない国から来た私は、日本に来てあたらしい目を開かれたような気がしました。日本をそんなゆたかな国になるようえんじょした父であり兄であるアメリカを、日本人がむちゅうになっていることにも気がつきました。わかい日本人たちにアメリカのえいきょうが多いみたいです。その上、日本の文化にアメリカのあたらしいものをうけいれることが好きです。あたらしい文化を伝えてやりたいことはたしかだろうかと思っています。

又、外国人として、駅の前で、いつももらうティッシュペーパーのしゅうかんにもびっくりしました。また日本の文化にかんする駅裏のことも分かって来た時はあせんとしました。

雪を見たことのない私は初めて雪を見た時はこどものような手であつめてなめました。ふわふわした雪はつめたくておいしかったです。雪の上をはしってみると、ちょっとすべる感じでやめました。日本のどこへ行ってもきれいなみちを見るのでびっくりしました。いくらせまいとちにもきれいに見えるように、木や花などがうえてあるのにもびっくりしました。

また、日本人は自分の感情をなかなか見せないのにびっくりしました。自分の感情をちよくせつ  
言いませんので、外国人にとってこのてんは一番こわい感じがします。自分の感情をどうしてちよ  
くせつ言わないのかということがもっと知りたくなります。

ぼうけんをおかして、日本に来て勉強することが出来ることに感謝します。どうもありがとうご  
ざいました。  
(教育学部 宮本)

## 日本語の授業について

張 立 憲

四カ月前、昨年十月十一日から、私はこの国際交流室の教室の初級日本語クラスで勉強していま  
す。先生のみみなさんのご指導で、四カ月間、充実した日本語の学習の毎日を送ることができまし  
た。勉強の面では、私を教えて励ましてくださった先生たち、ほんとうにありがとうございました。  
私の日本語の学習は、少々進歩していますが、あまり上手ではありません。

日本語の特徴の一つめは、読み方が同じなのに、書き方が違う言葉があることです。例えば、  
「メモを取る。」「写真を撮る。」も「猫がねずみを捕る。」もみんな読み方が「とる」なのに、書き  
方が違いますからね。それは難しいです。

日本語の特徴の二つめに、敬語があることです。例えば、私は友達の夏梅生さんと話す時には、  
「夏さん、何時に帰りますか。」「毎朝サラダを食べますか。」などといいます。でも自分より年上  
の人や地位の高い人と話す時には、「何時にお帰りになりますか。」「毎朝、サラダを召し上がります  
か。」などと言います。同じ内容でも、話す相手によって、言葉の使い方が変わるので。しかし、  
例外のこともあります。ある日、私はある会社の社長さんに用事があって、電話をかけました。  
「すみません。田中社長は、いらっしゃいますか。」と聞くと、電話の向こうの交換手が、「申しわ  
けありません。田中は、外出しております。」と答えました。自分の会社の社長の名前を、若い社  
員が呼び捨てにするのを聞いて、ずいぶん驚きました。日本に来た外国の人が、一番とまどうのは、  
こんな言葉の使い分けのようです。

ところで、今学期の日本語の授業は、今週までです。以後、私はもっと一生懸命に日本語を勉強  
しようと思います。  
(教育学部 川原)

## 日本語について

コンスタンチノ・ベリヤ・ガロピラス

私はフィリピンからきました。すうがくをおしえるほうほうがべんきょうしたいから、日本にき  
ました。日本ごができませんから、私はまえにしんばいしていました。でも今日本ごで思ったり、  
むずかしいこともわかるようになりました。しんせつでがまんづよいせんせいがいますから、いま  
日本ごがかけますし、はなせます。日本ごクラスは9時から3時まで、こんなさむいあさにはやく  
おきるのはいへんです。日本ごのクラスがはじまるまえにかいわをれんしゅうしてします。それ  
で今はじしんがあります。また日本人と日本ごではなせます。ふゆやすみにおおさかへきました。  
KANSAIKAIKAN でとまりました。岐阜の日本ごクラスはおおさかの日本ごクラスよりいいと思  
いました。なぜならおおさかのりゅうがくせいは日本ごができませんでした。でも私たちはできま  
した。

日本ごクラスにいろいろなトピックをとろんしてします。ときにはトピックがむずかしいこと  
をしりました。



ときどきせんせいのおっしゃることがよくわかりません。こうぎがよくわからないときはともだちにききました。でもいつもせんせいにそうだんしています。クラスメートがじょうだんをいいますから、日本ごクラスがにぎやかになります。本当にとってもたのしいです。(教育学部 中島)

## 私の日本でのせいかつ

デニス・ロバート

私は日本に5カ月ぐらいいます。アメリカから来ました。カリフォルニアのサンディエゴにすんでいました。サンディエゴ大学生です。けれども今は岐阜大学で勉強しています。私の専門はサンディエゴでけいえいがくです。だけれど日本に日本語を勉強しに来ました。

5カ月前に、ロスでひこうきにのった時は、さびしかったけど、こうふんしていました。私のかぞくとともだちとかがさって行って、さびしくなりました。でも私は日本に行きたかったです。だからとてもこうふんしていました。日本に来る前に、日本のことがよくわかりませんでした。日本に来た時は、さいしょの2週間私のせいかつはちょっとたいへんでした。ひとつのりゆうは、日本語があまりわからなかったことです。たとえばはじめてレストランへ行った時は、メニューが読めませんでした。だからおひるごはんが食べられませんでした。それから日本語を話せるともだちとレストランへ行きました。もうひとつのりゆうは、日本にあたらしいともだちがいなかったことです。さいしょの2週間はさびしくてたまりませんでした。そして私はこくさいこうりゅうかいかんにはいりました。そこでほかのりゅう学生に会いました。日本にいるがいこくじんは、じぶんと話せるほかのがいこくじんがひつようですので、がいこくじんはときどきもんだいがあると思います。

私はいかんにはいった週の次の週に、日本のクラスがはじまりました。それから私は日本で英語をおしえはじめました。私のせいかつはとてもいそがしくなりました。いま私のせいかつはとてもおもしろいです。日本と日本人がすきです。でも日本のぶんかとアメリカぶんかはとてもちがいます。このようなきかいをあたえてくださって、どうもありがとうございます。

(教育学部 小澤)

## 私の日本語

アグン・リヤント

皆さん、こんにちわ。

私は去年10月に日本へ来ました。日本に来る前、国では日本語をぜんぜん勉強しませんでした。今、私は岐阜に住んでいます。岐大で日本語を勉強しています。日本語のクラスで毎日日本語の文法と少し漢字を勉強しています。しかし、すぐく上達がおそかったです。なぜなら私が住んでいる国際交流会館には、多くの国から来た友達がおおぜいいるので、毎日英語を話して、日本語はあまり使わないからです。クラスの先生達はゆっくり、わかりやすい日本語を使いますが、テレビとラジオの日本語、日本人が話す日本語は早いし、まだまだ知らないたんごもたくさんあるので、よく聞きとれません。また毎日、日本語クラスへ行って会館へ帰って、勉強をしているので、なかなか日本人の友達を作るきかいはありません。

さいしょ、会館で一番こまっていたことは、電話がなくて、あいてが「もしもし、〇〇さんおねがいします」と言うのですが、友達の名前がまだ分からなかったのも、よびだすほうそうをながしてもちがう名前をよんでしまったことです。また私にとって日本語はとてもむずかしいです。なぜなら日本語のしゅるいはみつつあるからです。ひらがな、かたかなと漢字です。

いろいろな日本語のことばをなっていますが、食べるは EAT、飲むは DRINK、女は WOMEN、金は MONEY。これらのことばは私にとってたいせつなことばだと思います。

私は日本へ来た時は日本語はぜんぜん分かりません。今、私の日本語はまだめっちゃくちゃですし、日本に来て4カ月たったが日本語の勉強はまだまだたりませんが、私はこれからももっともっと生きている日本語の勉強をつづけたいと思います。(教育学部. 吉田)

## エイ・エイ・タン

日本に半年ぐらいいる間に日本の文化と日本人の心がわかりました。私は日本へ勉強するために来ました。日本はミャンマーよりいいところですけど何でも高いですから、留学生たちは生活するのがちょっとたいへんです。私は自分のお金で勉強している私費留学生ですから、どうしても勉強だけすることができません。自分のくいで勉強ばかりやったけど、日本にいる間、日本の物価は高いので、勉強するために午前は大学で勉強して、午後は少しアルバイトをやります。本当はアルバイトをしたくないです。えらいです。でも自分の生活のためにアルバイトやらなければ生活はできません。いち日に二時間とか三時間ぐらいいやります。

私は日本へ来る前に日本語を一カ月ぐらい勉強しましたが、よくしゃべれません。だからまいにち大学で日本語を勉強しました。今、前より日本語しゃべれるようになりました。大学の先生がたみんな自分の学生がじょうずになるためにいっしょうけんめいに教えています。本当にやさしい心をもっています。日本にくる間に日本語がわからなければこまります。はじめは日本語がよくわからなかったですから、駅へ行きたいけど、日本語をわからないしよめないし、こまりました。何もわからなければ日本人にきくと教えてもらえます。

さて私は自分のくいでラングーン大学で生物学の修士過程で勉強しました。でもまだ卒業していません。あそこをやめて日本へ来たからです。日本で勉強したいから来ました。今けんきゅうだけです、チャンスがあれば日本で修士号を取るために勉強したいです。

(教育学部. 和田)

## 日本じんと日本

### ターロ・フェ・アノヌエボ

日本についての私のかんそうは、とてもきれいであんぜんだということです。にほんのひとびとはよく働いた、がくせいもよくアルバイトをします。かれらはれいぎ正しく、マナーをたいせつにします。そしてせいそでせいけつずきです。またかれらはしょうじきで、しりょがあります。ほんとに日本のひとびとはとてもすばらしいです。せんせいもとてもしんせつです。

じつは私が日本にきたのは、これがはじめてのことではありません。私はJICAのゆうこうプログラムでここにきました。私たちは日本のおもな都市、東京、京都、ながさき、ひろしま、かなざわ、こまつなどへいきました。私たちはこのプログラムのなかで、ざっしで、たたみやおりがみまでの日本のせいかつやぶんかがしょうかいされました。このけいけんで私たちは、へいわのそくしんにはぶんかのへだたりはないことをしりました。東京と京都をくらべるのはむずかしいけれど、きこうは東京のほうがいいです。でもけしきは、京都のほうがきれいです。それに東京ほどじんこうがおおくありませんからおちついています。ひろしまはちょっとこわいですがにんきがあります。

ほんとに日本はいいくにです。日本じんもとてもいいです。まわりに私のくににみなさんをしょうたいしたいです。いつでも私のうちにいらしてください。(教育学部 小池)

## 日本での生活

夏 梅 生

私が日本来てから5カ月くらいになります。日本の友人の熱心なおもてなしをうけました。また日本の先生は大変親切です。私の身元引受人の今津先生や、イマツ株式会社の新井先生と皆さんが生活や勉強について私に十分な配慮をしていただいています。私はたいへん深く感動しています。

例えば、私はイマツ株式会社の新井先生と一緒に名古屋の美術館へ行きます。かれらは日本語の勉強と生活をいただいています。たぶん四月ころ富士山へ写生に行くつもりです。そうすると、私はたくさん勉強することになるだと思います。

昨年、私は日本の皆様の暖かい協力を得て岐阜市内の二つの銀行で私の水彩画個展を開くことができました。たくさん日本の友人会って、楽しくなったと思います。

最近、生活に慣れて来ました。日本の友人とは少ししか話しませんけど、日本の文化と美術を勉強をしたいと思っています。

中国の文化と日本の文化は共通しています。岐阜は古い文化的なものが多く、美しい自然環境もあり、有名な画家もたくさんいます。私は日本で一年間勉強して、日本の自然風景を描いて帰国のときは、日本の風景画をたくさん持って帰れたら本当にうれしいと思います。

(教育学部 郷)

## 日本語の授業について

ポッチャナート・ルーデットウティカライ

私は去年の10月に日本へ勉強をしにきました。はじめは日本語がぜんぜんわかりませんでした。だから初級の日本語の授業を勉強しています。クラスメートはいろいろな国から来ました。たとえば、フィリピン、インドネシア、中国、メキシコ、アメリカ、ミャンマーです。日本語の先生は加藤先生、及川先生、後藤先生、河地先生です。最初の授業は自己紹介でした。私達はとてもゆっくり日本語で自己紹介してから、ひらがなとカタカナを書いて読み方を勉強しました。先生は皆一生懸命にいろいろなことを教えてくださいました。よく宿題とテストがあるので、日本語がだんだんわかるようになりました。先生はいつも「がんばって下さい。」と言っていました。クラスの中にアゲンさんとデニスさんがいるので、とても楽しかったです。眠くなりませんでした。でも、月曜日と火曜日には午前9時から午後3時まで日本語を勉強して、ちょっと疲れましたが、だいじょうぶでした。テストがある時は、皆が80点以上をとれました。日本語はとてもおもしろいので、日本語を勉強するのが好きです。今、私は日本人と日本語で簡単なことが話せますが、時々問題があります。たとえば、日本の言葉が覚えられません。漢字がたくさんあるので、読めません。広田先生は私達に漢字のコンピューターの使い方を教えてくださいました。暇な時は、自分で勉強します。初めは簡単な漢字でしたが、だんだんむずかしくなりました。時々問題を解くことができませんでした。コンピューター先生は「ピンピン・・・ちがいます。ピンピン・・・正しく答えて下さい。ピンピン・・・残念でしたね！」と言っていました。

私の日本語の授業はとてもにぎやかです。先生はとても親切です。でも、一番こわいのはコンピューター先生です。(教育学部 五島)

## 奨学寄付金のお礼

1989年度は、国際交流促進ならびに留学生学資金のために、次の方々から奨学寄付金をいただきました。（五十音順）

イビデン株式会社  
加藤 晃 学長  
株式会社大垣共立銀行  
株式会社十六銀行  
岐阜瓦斯株式会社  
岐阜車体工業株式会社  
岐阜信用金庫  
財団法人田口福寿会  
大日本土木株式会社  
太平洋工業株式会社  
中部電力株式会社 岐阜支店

ありがとうございました。

### 編集後記

今年は春の到来が例年より早いのでしょうか。寒がりの私は喜ぶべきなのでしょうが、春休みのスキーの予定を考えると、×××複雑な気持ちにもなります。さて、いよいよ今年度最後のニューズレターができて上がりました。この中で初級日本語クラスの学生のスピーチを本人に文字化してもらったのは、多少不完全なものかもしれませんが、四カ月の日本語教育の成果として読んでいただけたらと思います。

(Y.K.)

発行 岐阜大学国際交流室  
〒 501-11 岐阜市柳戸 1-1  
電話 (0582) 30-1111  
内線 2380/2381  
編集 藤田一郎・加藤由紀子